

理科教材から研究機器まで理化学機器の総合サプライヤーとして 売上増のなか、勤務時間を20%削減

「科学と共に栄える会社」という理念の下、教育用実験器具のメーカーとして創業し、70年以上にわたり子供たちの可能性を引き出す教育用の理科教材から、研究者が求める優れた研究機器まで、科学に関わる商品を幅広く取り扱っている。ECチャンネルへの進出などによって売上とブランドを向上させる一方、基幹システムの入替、RPA導入など各種システムツールの導入や、業務の見直しにより、売上を増やしながらか業務時間の削減を実現している。

所在地 大阪府大阪市北区天満2丁目7-28
電話/FAX 06-4800-0728 / 06-4800-0729
URL <https://www.kenis.co.jp/>
代表者 代表取締役社長 西松 正文

設立 1947年
資本金 8,000万円
従業員数 140人



社会変化に応じて毎年100件のオリジナル商品の開発・40件の新規輸入

メーカーとして理科教育の充実を図るべく、文科省の方針に沿いつつも教師が指導しやすく、子供たちが安心安全に実験に取り組めるという視点から付加価値の高いオリジナル実験教材を毎年約100件開発し、約40件新規輸入している。直近ではGIGAスクール構想によりパソコンやタブレットを使った授業が行われるなど教育現場も大きく変化しているため、タブレットで画面を共有できるデジタル顕微鏡やICTを活用したデジタル機器の充実を図っている。



顕微鏡映像を最大7台の機器に同時転送

ECサイトへの出品による販路拡大とブランドイメージの向上

市場規模の大きい研究分野での商圏拡大を図るため、主要ECチャンネルへの出店を強化している。不特定多数のユーザーの目に入るECチャンネルへの出店により、「研究機器」を含む幅広い品揃えを訴求することが可能となり、創業以来の「理科教材メーカー」としてのブランドイメージに加えて、「理化学機器の総合サプライヤー」としてのブランドイメージの定着を図っている。



機器を通じた研究者のトータルサポート

システム環境改善による業務効率化、売上増のなか、勤務時間の20%削減に成功

ペーパーレス化、ネットワークの無線化、PCのデスクトップからノートへの切替を実施し、在宅勤務も含め、勤務内容も見直した。また、基幹システムの入替により、業務の標準化と情報の共有化を実現し、営業支援ツールの導入によりノウハウのシステム化・共有化した。加えてRPAの導入および出退勤や経費精算も電子化を進めた。これらの結果、売上を毎年増加させつつも、勤務時間を2年で20%の削減に成功している。さらに次年より新しい物流センターを稼働させ、入出庫作業の自動化による作業省力化を図る。



門真D.C. 令和4年1月稼働予定